

医療現場で安心・安全に電波を利用するための説明会を開催

- 総務省四国総合通信局と四国の医療機関における電波利用推進協議会は、令和7年12月13日（土）に、オンラインで「医療現場で安心・安全に電波を利用するための説明会」を開催し、全国から医療関係者や通信機器メーカーなどから110名の参加がありました。
- 説明会では、医療現場で利用可能な通信機器が多様化し、様々な場面で活用が進んでいる中で、電波利用環境の改善や災害対策の強化を考える契機となりました。

講演1

演題: 災害時を想定した病院内外の最適な連絡手段の構築－福井大学病院での取り組み実践から－

講師: 福井大学医学部附属病院 医療情報部 副部長／准教授 山下 芳範 氏

内容: 医療機関における通信を「IT-BCP」の観点で捉え、災害やサイバー攻撃等の非常時でも医療を継続するための考え方と事例が紹介されました。



講演2

演題: 病院内の連絡体制の改善に向けたIP無線の導入や活用事例

講師: 横浜市立市民病院 臨床工学部 技士長 相嶋 一登 氏

内容: 職員間のコミュニケーションの改善を目的に導入したIP無線は、医療機器や院内ネットワークへの影響もなく運用しており、病院内で電波利用の統括部署との連携必要性を述べられました。



講演3

演題: 医療機関で利用される無線機の種類とその特徴

講師: アイコム株式会社 国内営業部アライアンス営業3課 四国出張所 エリアマネージャー 月野 佑紀 氏

内容: 医療機関で利用される各種無線機の特性やメリット・留意点について、平常時と災害時の視点から解説されました。



【参加者からの感想】

- 平常時や災害時の病院内外での連絡手段や、IP無線の有用性、病院で使用できる無線機の種類について理解できた。
- 経費との兼ね合いもあるが無線機器導入時の参考にしたい。

四国総合通信局は、今後も医療分野における電波の安全性確保や電波の利活用推進に積極的に取り組んでまいります。
(お問い合わせ先) 電波監理部 電波利用環境課(電話 089-936-5055)